

調布市 環境未来座談会

(学生ワークショップ) 開催報告

1. 開催概要

- 日時 令和7年9月13日（土）14:00～16:00
- 場所 オンライン（zoom）
- 参加人数 学生：5人
- 目的 次期調布市環境基本計画の策定に向け、将来を担う若い世代の意見やアイデアを募る。2050年カーボンニュートラルの実現に向け、その頃に40代となり世の中を担っていくこととなる大学生年代・高校生年代の方の意見・アイデアを把握する。
- テーマ
 - (1)調布市の環境について感じていること
 - (2)高校生や大学生が参加したくなる環境イベントなどのアイデア
 - (3)環境に関する情報を効果的に発信するアイデア・方法

2. 出された意見・アイデア等

(1) 調布市の環境について感じていること

①調布市の環境について

分 野	意 見
1.景観・緑	<ul style="list-style-type: none"> ● 自宅マンションの前にあった森が最近伐採され、景観が悪化した。 ● 木が伐採されたり森がなくなったりする。 ● 調布市には金属製の家が多いと感じる。 ● 神代農場以外はあまり調布駅周辺に行かないが、調布駅周辺にもっと木を増やしてほしいと感じる。
2.交通・都市構造	<ul style="list-style-type: none"> ● 調布市は京王線で東西の交通は整っているが、南北の路線が不足していると感じる。真ん中がないと感じており、南北をつなぐ交通網が将来イメージの中に描かれると嬉しい。

②将来の調布市における理想の姿・調布の環境をよくするためのアイデア

分 野	意 見
1.景観・建物	<ul style="list-style-type: none"> ● 木材を組み込んだ建築物が増えれば、植物の量が増え、景観も良くなる。鉄の硬さを持つ木材などの活用も考えられる。 ● 森を増やし、伐採を減らすことで景観を守りたい。 ● <u>伐採された木材については再利用を考えるべきであり、ショッピングモールで建物の一部に木材が装飾として使われている事例を参考にできる</u>

分 野	意 見
2.交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通弱者対策として、<u>バスやタクシーだけでなく、LRT（路面電車）やBRT（バス高速輸送システム）を電気や蓄電池で運行することで環境負荷を低減できる。</u> ● バス運転手不足（2025年問題）を考慮し、連節バスのような、バスを2台つなげて専用道を、走り駅まで乗り入れるシステムを検討する。
3. 食 料 生 産・住居	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>食料自給率を上げるために、家庭内でも野菜を作る必要がある。</u> ● <u>普通の住宅の隣に畠があり、入居者が必ず畠を耕すことを義務付けるような「農業住宅」の仕組みを提案する。</u> 農業住宅を保護区の中に作り、入居者でコミュニティを作り、情報を発信していくことも考えられる。

（2）高校生や大学生が参加したくなる環境イベントなどのアイデア

分 野	意 見
1.他分野との組み合わせ（環境プラスアルファ）	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>環境問題に焦点を当てるだけでなく、環境問題と何かを掛け合わせたイベント（例：音楽フェス）を開催し、誰もが親しみやすく参加のハードルを下げる工夫が必要。</u> ● 環境と防災を組み合わせたイベント（非常用電源やポータブルソーラーパネルの啓発活動など）を実施する。 ● 音楽イベントと組み合わせるなら、音楽フェスの後に会場を清掃するイベントを組み合わせるのが良い。 ● 地域のグルメと環境、食べ歩きイベントなど、別の分野と組み合わせる仕掛けも必要かもしれない。
2.ゲーミフィケーション・インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境イベントの景品はごみになる可能性があるため、<u>景品ではなくスマホのポイントのような仕組みが良い。地域通貨のように、イベントに参加するとポイントが貯まり、市内で使えるシステムが楽しい。</u> ● 友達を招待するとポイントがもらえる仕組みや、招待した側がたくさんポイントをもらえる仕組みがあれば、参加者が増えるのではないか。 ● ごみ拾いクリーン活動で競争形式を取り入れ、たくさんごみを拾った人が表彰され、お菓子などがもらえる仕組みが良い。<u>若い人や小学生は対戦が好きなので、競争形式とプレゼントの組み合わせが効果的。</u>
3.体験型・ターゲット層の限定	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみを拾うところからアクセサリーを作るまでを一貫して自分でやるイベントがあれば、忘れない体験になる（マイクロプラスチックを使ったペン作りなど）。気に入ったごみを見つけてくることも含めての体験が重要。 ● <u>若い世代だけのイベントなら参加のハードルが下がる。</u> お祭り形式でも若い人は来ると思う。 ● 知らない分野のイベントには一人だと心細いが、興味のあることなら一人でも参加できる。

(3) 環境に関する情報を効果的に発信するアイデア・方法

分 野	意 見
1.情報源と 伝達経路	<ul style="list-style-type: none"> <u>学生の情報源としては、駅前のチラシや学校からの告知が主であり、ネットで情報を拾うことは少ない。</u> イベント参加のきっかけとして、今回は先生からの紹介や市のホームページが挙げられた。
2.掲示板の 活用と改 善	<ul style="list-style-type: none"> 以前住んでいた街では、印刷物などを貼る掲示板が街中に設置されており、地域のお祭りなどの情報提供に使われていた。 <u>通勤通学の道は変化があれば気づきやすいため、主要な道に掲示板を置けば効果がある。</u> 1週間ごとにポスターが変わるなど、変化があれば必ず目に留まるはず。 掲示板は人が身近に使う場所、慣れている場所に貼る方が変化に気づきやすい。 掲示板の形を改善し、ネット社会に合わせて画面化する。電子化された掲示板は、まず地図を表示し、その場所でどんなイベントがあるか（チラシで配っていた情報）を示すのが良い。災害時の伝達機能（110番通報ボタンなど）も持たせる。 掲示板の設置場所は、光がよく当たる場所で、かつ人が必ず通る場所（例：調布駅、バスロータリー）が良い。 掲示板の電力はソーラーパネルで賄うなど工夫する。
3.デザイン とコンテ ンツの工 夫	<ul style="list-style-type: none"> <u>現代人は3行以上の文章を読めない人が多いため、短く伝わる文章にするべき。パッと見て瞬時に分かれる仕掛けが必要。</u> （動画やデザインについて）文字が大きく、分かりやすいもの。一言でパンと載っているもの。興味を引くようなデザインが必要。 みんなが知っているキャラクター（例：ポケモン）を添えてコラボすると、全世代に目が止まりやすくなる。 <u>調布市の怪獣キャラ「ガチヨラ」を、映画イベント時だけでなくもっと色々なイベントや街中で登場させ、例えば蕎麦を食べている姿など、街のイベントと絡めて活用する。</u> 縦型の掲示板があったとしても、それだけでは見ないため、周囲に何か付加価値を与える。 電子化された掲示板には、地図表示の他、災害時の伝達機能（110番通報ボタンなど）も持たせる。

4. 開催中のオンライン画面

